



森林官からの手紙



都市と森林を結ぶ役割を

仙台森林管理署 根白石森林事務所 地域技術官 畑山 侑也

私の勤務する根白石(ねのしろいし)担当区は、仙台市泉区の都市近郊から山形県境の奥羽山脈まで約七千haの国有林を管轄しています。

都市近郊の国有林は、泉区中心部の住宅地の近隣に位置する丘陵林で、スギ、アカマツ等の人工林とコナラ、クリ等を主とする天然林があり、住宅地から近いので、ハイキングや自然観察等仙台市民の憩いの場として広く利用されていますが、最近ではマツ枯れ・ナラ枯れが発生し、美観を損ねたり、倒木被害のおそれもあるため、被害木の調査・駆除を実施し、景観保持、安全確保に努めています。



泉ヶ岳から船形山を遠望

奥羽山脈の国有林は、山形県境にある船形山から仙台市の北西部までの山岳林で、中腹にかけて広がるブナを主とする

広葉樹天然林、中腹から山麓はスギ、カラマツ人工林となっています。特にブナを主とする広葉樹天然林には、施業指標林を設定しており、天然林施業の技術向上のため各種データを収集しています。また景観も良く、多くの登山者が足を運ぶ人気のスポットで峰から中腹にかけては、急峻な箇所が多いので山地災害防止機能を重視するとともに、船形山の麓にある「大倉ダム」、「七北田ダム」は下流の市街地の重要な水源であるため、水源涵養機能を重視した管理を行っています。



泉ヶ岳



船形山生物群集保護林

当管内は、政令指定都市である仙台市を管轄しているため、市民の皆さんは森林にはあまり関心がないのではと思っていましたが、巡視の際には釣りや登山、ハイキング等で入林している方と話をする機会が多くあり、森林に対する関心の高さを感じました。こうした関わりを通じて今後も地域に必要とされ続けるために国有林として何ができるかを日々考え

務に取り組んでいきたいと考えています。

ところで、船形山の麓の大倉地区には「定義如来西方寺(じょうぎにょらいさいほうじ)」があります。西方寺は宝永3年(千七百六年)に設立された歴史の深い寺で、縁結び等に御利益があるといわれ年間、百万人もの人が訪れています。またすぐ近くには豆腐店があり、「三角油あげ」が名物となっています。

油あげと聞くと薄いペラペラなものを想像すると思いますが、「三角油あげ」は2センチ以上の厚揚げで食べごたえがあり、外はサクサク、中はシットリとしています。通の食べ方は醤油と唐辛子をかけるように、油っこくなくとても美味しいので、是非一度食べに来てほしい。



定義如来西方寺と油あげ